

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	救助笛配布事業				会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課					
施策	4-6	バリアフリーのまちづくり	主管課長	横山 友二					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上のみ世帯の市民	意図	外出時の不安解消とともに、緊急時の迅速な救助活動に役立てる。
事業内容	外出時に携帯することで、緊急時には笛を吹いて周囲に知らせることができ、不安解消に役立つ救助笛を配布する。筒内には住所、氏名、緊急連絡先などを記入したカードを収納しておくことができる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度に廃止した事業であるが、平成26年6月一般質問により配布要望があり、平成26年度に開始した事業である。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	配布数		3,472	729	
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 事業開始当初に在庫を確保していた300個を大きく上回る配布申請があり、補正や流用によって対応した。民生・児童委員からの配布希望もあり、特に救助笛が必要と思われるひとり暮らし高齢者には一定程度行き渡った。平成27年度は、729個配布した。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,080,880	1,120,200			
事業費(b)(円)			389,880	367,200			
うち一般財源			389,880	367,200			
職員給与費(c)(円)			691,000	753,000			
人役・職員(人)			0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	必要な人に行き渡るように広報、ホームページ等により周知を図る。避難行動要支援者名簿の登録者に配布していく。	③取組の課題	当該事業に対し関心をもっていただけるよう周知を徹底する。
②今年度(H27)に実施した取組	救助笛を5,000個購入し、民生委員、自治会に協力をいただき必要な方に配布を行った。	④今後の改善計画	必要な人に行き渡るように広報、ホームページ等により継続して周知に努める。